

Cover Presentation

松本 大

Text by MATSUMOTO Dai

建築家

都市環境マネジメント研究所 研究員

松本大建築設計事務所 代表



夜はライトアップされる。
今号の表紙には、2階バルコニー
上部のバロック彫刻を切り取った。

表紙プレゼンテーション

都市の重層性を高める時代の記憶 近代建築物群の中で異彩を放つ「三田商店」



都 市空間が豊かな表情を持つ
には、都市の重層性を高めな
くてはならない。都市の成立から現
在までを概観したとき、その時代を
特徴づける建物が建てられ、時の流

れとともに更新されていく。
金沢のように、戦災をまぬがれた
都市の場合、成立から現在までの建
物を一望の下に概観できる可能性が
ある。建物は人々にとって、時代の

記憶そのものであり、記憶としての
建物が街のあちこちに残り、埋め込
まれ、街に連綿と流れる時の流れを
現在において体感することが可能に
なる。
このような意味において、建物
を保存する意志の有無は、都市の重
層性を維持するうえで重要な要素に
なってくる。ただ、歴史文化都市の
性格とは別に経済的中核都市の役割
も併せ持つ金沢の場合、保存重視の
みでは立ちゆかない難しさもあるだ
ろう。実際に、高度経済成長時代の
価値観が優先されたころ、金沢から
は貴重な建物群が消え去った。しか
し、成熟した価値観を人々が持つよ
うになった今、金沢という街が成熟
した他にはない特色をもち、その個性
を発信しうる街であるためには、様々
な時代の記憶を「顔」として街に埋
め込んだ、豊かな重層性をもった街
として生き残っていく必要がある。
この重層性を代表する建造物のイ
メージとして、三つの時代を代表す

るカテゴリーが考
えられる。一つは、
江戸期からの木造
の「町屋」建築で
あり、次に、明治
の文明開化からの
豊かな様式性を持
つ「近代（洋館）」
建築、そして三つ
目が「現代」建築
である。それぞれ
の時代を代表する
良質な建物が街中
にランドマークと
して花開くことに
よって、豊かな都

近代建築としての建物が散見される
場所は、武蔵が辻から橋場町にかけ
ての尾張町エリアなど数えるほどし
かない。このエリアに残るのは、近
江町市場の再開発で保存される北國
銀行武蔵が辻支店（旧加能合同銀行
本店、村野藤吾設計）、福井銀行尾張
町支店（旧大和田銀行金沢支店）、石
黒ビル（武田五一設計）、金沢文芸館
（旧高岡銀行）などである。
このエリアの近代建築物の多くは、
地元資本の社屋が中心であり、大資
本所有の味深い深いビル群が時代と
ともに消失した旧南町に比べると、
建て替え計画がスムーズにいか
なかったのがかえって、保存にとつて
良かったのかもしれない。

市の重層性が実現できるのだ。
金沢における近代建築の代表的な
例としては、明治末より進出してき
た中央資本の支店社屋があり、有名
建築家の設計によるものが少なく
ない。その多くは、武蔵が辻から旧南町、
香林坊へかけてのメインストリート
に位置しており、旧日本生命金沢支
店（辰野・片岡事務所設計）、大同生
命金沢支店（ヴォーリース設計）、旧
明治屋（曾禰中条事務所設計）など
が重厚な街並を形作っていた。
しかし、こうした街並も、今では
無味乾燥なオフィス街に変わり果て、

かろうじて尾張町に残った近代建
築群の中で、今回の表紙を飾った「三
田商店」は異彩を放っている。周辺
の近代建築の多くが銀行であり、古
典的で堅苦しい様式が要請されたの
に比べ、昭和五年に建設された「三
田商店」は、武蔵が辻に当時進出し
た三越百貨店に対抗して建てられた
洋品店であり、商店としての「華」
を感じさせるデザインであるからだ。
スクラッチタイルの落ち着いたシ
ンプルな概観、出入り口となるコー
ナーの優美な円弧、そこに集中され

るバロック様式、バルコニーつきの
窓台をはじめ、華やかな装飾に彩ら
れた「三田商店」のたたずまいは見
ていて飽きない。幕末からの西洋小
間物商の四代目が改築したモダンな
ビルは長い間、テナントとして貸し
出されていたが、孫である現在のオー
ナー、三田裕一さんがギャラリーと
して再生し、今も暮らしの営みの中
で息づいている。連綿とした、老舗
の気概が形を変えて、受け継がれ、
建物が「生きた」形で使われている
のがいい。これからも、「生きた」ラ
ンドマークとして、街の顔として豊
かな表情を魅せ続けていくことを願
わずにはられない。●

メモ 三田商店



昭和5年建築。設計、施工は大林組。鉄筋コン
クリート造、2階建。単純な箱形の概観だが、
コーナーを円弧として出入口、装飾を集中させ
メリハリのある表情を演出している。外壁のス
クラッチタイルの柔らかな質感が美しい。コー
ナーの装飾は一階入口より二階窓まで、アカン
サスの装飾のある窓台をはさんで一体的に構成
されている。装飾はバロック風の動きのある流
麗さが持ち味で、華やかで豊かな陰影を持つ。